

○ 令和4年度京都府学校給食優良学校等表彰

□ 優良学校

学校名・所在地・校長名等	概要
<p style="text-align: center;">南丹市立美山中学校</p> <p>〒601-0755 京都府南丹市美山町静原桧野 10番地1 (校長 明田 忠弘) TEL 0771-75-0027 生徒数 54名 教職員数 34名</p>	<p>1 南丹市や京都府の旬の食材を積極的に活用した献立について、給食の時間や給食だよりにおいて食材の生産者や地域を紹介し、生産者の思いや地産地消の大切さを伝えている。</p> <p>2 総合的な学習の時間に位置づけた「聞き書き」と称する取組において、生徒代表者が美山町内の第一産業に関わる方（農家、養鶏家など）から話を伺い、文章にまとめて学校全体に知らせるなど、生産者と消費者の繋がりを強化し、地域産業の活性化の観点から地産地消の意義について深く考えられるような取組をしている。</p> <p>3 学校体制の中に「食育推進部」が設置されており、食に関する指導や年間計画を整備し、給食の時間や各教科等、学校教育活動全体を通して組織的に食に関する指導を行っている。また、食生活アンケートで実態把握を行い、結果に基づき掲示資料や啓発資料を作成している。 その他、南丹市健幸・食育レシピコンテストへの応募など、生徒が健康増進に係る食事の重要性に気づき、主体的に考える取組が積極的に進められている。</p> <p>4 給食時間は、教員の協力のもと、素早い配膳・盛り切りの配膳が行われており、ゆっくりよく噛んで味わいながら食べる時間を確保する取組により、給食の残食がほとんど無い。また、日々の給食の感想を生徒が記入し、美山学校給食共同調理場の調理員へ渡す取組や、給食週間の取組として学校に調理員を招き、感謝のメッセージを伝え、給食を共に喫食するなど、調理員との交流を図っている。 給食内容については防災給食、国際理解給食、SDGsをテーマとした献立の実施など、指導と関連づけ、給食を生きた教材として活用されている。今後も、地場産物の活用、計画的な食に関する指導について特色ある取組を展開し実践されることが大いに期待できる。</p>